

平成31年度(2019年度) 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	6		学校名	茨城県立多賀高等学校					課程	全日制			学科	普通科		
校長名	岡部 和也				教頭名	武藤 秀之				事務(室)長名		益子 真治				
教職員数	教諭	40	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師	4	実習教諭 実習講師 実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	4	計	60
生徒数	1年			2年			3年			合計			学級数	1年	6	合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		2年	6	18
	120	121	241	116	122	238	118	119	237	354	362	716		3年	6	

2 目指す学校像

(1)校訓「最善を尽くして颯爽たれ」及び校是「師弟同行・文武不岐」の精神に則り、「知・徳・体」の調和のとれたたくましい「人間力」を育む学校
(2)授業を中心に、生徒一人一人の可能性の開発に努め、進路希望の着実な実現をサポートする学校
(3)特別活動を中心に、よりよい社会づくりに貢献しようとする「市民性」を培うことにより、地域や保護者から信頼される学校

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項 目	現状分析		課 題
	取組の実績	成 果	
学習進路	○SHR小テストの実施(英・数・国・公務員) ○1年時から大学一般受験を勧めるガイダンスの実施 ○生徒面談の充実(各担任5回程度) ○模擬面接, 検定試験の充実	○技能検定合格者(英53→35, 数33→44) ○四大進学者のうち「一般」受験者率(21.6→28.4%) ・国公立大「一般」合格者(3, 前年度同値) ・進路希望実現率(94%→96%)	○自学自習課題の積極的提供 ○大学入試新テストへの対応 ○進路指導体制の体系化・定着 ○定期考査間授業数が不均衡
生徒指導	○粘り強い容儀指導, 挨拶指導の実施 ～朝昇降口(毎日), 集会時, 登下校時, PTA合同	○皆勤率増(17.5→25.4%) ○交通関係外部からの指導件数減(23→18件)	○規範意識が受動的な傾向 ○SNS等利用モラルの一層の向上
特別活動	○生徒会委員会, 委員長会議の定例開催		○より一層の主体的行事運営
	○クラスマッチの2日間実施	○HRへの帰属意識が向上	
	○1年前期全員部加入制(1・2年末加入率各95%・94%)	○22部中18部が県以上の出場・入選〔H30〕	○休養日の適切な設定, 効率的活動

※H29年度3学年は7学級→H30年度は6学級

※部活動は全22部のうち県大会等があるのは20部

4 中期的目標

(1)地域から信頼され選ばれ続ける持続可能な学校づくりに全校を挙げて組織的に取り組むことにより、中卒者激減に適切に対応する。
(2)新学習指導要領・大学入試新テストに対応できる学習進路指導体制を構築することにより、増加する大学進学ニーズに応える。
(3)生徒に学校づくりの主役として自治的な体験を多くさせることにより、生徒の内発的なベクトルを育み、自己有用感・自己効力感を高める。
(4)心身の発達段階の理解に根差した心の教育を推進することとおし、思い遣りの心や人権意識に満ちた学校風土を醸成する。
(5)学校における働き方改革を推進し、よりよいパフォーマンスを発揮するための適切な休養を含めた勤務体制の構築に努める。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
(1)新大学入試に対応できる 進学実力の錬成	①思考力・判断力・表現力を育む授業の深化を図るとともに、学習課題を積極的に提供し、家庭学習を定着させる。
	②自己分析や大学・職業研究、課外や模試等をより体系的に実施し、希望進路の着実な実現につなげる。
(2)自治的能力と自律心の育成	③H Rや委員会における企画立案の取組等を積極的に設け、役割意識や責任感、能動的な規範意識を醸成する。
(3)切磋琢磨の奨励と 心身のケア	④部活動を奨励し、特技を伸長するとともに、スポーツ・文化・芸術を楽しむ心ややり遂げる力、連帯感等を育む。
	⑤保護者との密な連携やスクールカウンセラーの活用等により、生徒の心理的課題に早期に対応する。
	⑥希望進路実現に備える学びの時間と課外活動の時間を適切に設計できるよう指導する。
	⑦学校閉庁日の設定等により勤務時間の適正化に努めるとともに、行事、課外活動を含む業務の精選、適正化を進める。